

# 支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『千歳ウエルカム花ロードver.13』

- 【概要】** 千歳ウエルカム花ロードは、年間約2000万人が利用する北海道の空の玄関口新千歳空港の町として、「ここからはじまる北海道～みんなでつなぐ花の道～」をテーマに、美しい景観づくりを通じて子供達の『おもてなしの心』を育成する活動として、(社)千歳青年会議所が中心となり平成15年に始まった。小学校、企業、ボランティア、花植え団体、航空自衛隊千歳基地、行政機関へと協力連携の輪が広がり、活動13年間で約6千6百人が参加し、空港周辺に22万株の花を植えた。13年目を迎えた今年も、札幌駅前通地下歩行空間で活動紹介PR展示、6月18日(木)に千歳市立緑小学校、千歳市立千歳小学校で花ロード事前特別授業を行った後、約600人が参加し、空港周辺の沿道約6.7kmに約2万6千株の花を植え、おもてなしの花咲く道をつなげました8月には、実行委員会とボランティアなど約100名による花壇の除草を実施した。
- 【日時】** 札幌駅前通地下歩行空間PR展示：平成27年5月22日～6月5日  
花ロード特別授業（緑小学校、千歳小学校）・花植え：6月18日  
除草：8月19日
- 【場所】** 千歳市（JR南千歳駅前国道36号周辺、JR千歳駅前、道道千歳インター線、道道新千歳空港インター線、道央道千歳IC料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか）
- 【主催】** 千歳ウエルカム花ロード実行委員会 **【参加人数】** 植栽580名、授業148名、除草100名



# 支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW-3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『453・530 (ヨゴサン・ゴミゼロ) キャンペーンin支笏湖』

【概要】 453 (ヨゴサン) キャンペーンは、春の5月30日 (ゴミゼロ) と秋の10月3日に、支笏湖温泉から丸山分岐までの国道453号のゴミ拾いを行います。早朝の支笏湖で綺麗な空気を吸いながらの清掃活動です。シーニックバイウェイ試行当初からの継続活動で12年目を迎えました。活動当初は、50名程の参加者であったのが、企業や団体等のボランティア参加が少しずつふえ、今年の5月で11団体、総勢100名を越える参加となりました。

【日時】 平成27年5月30日、9月25日 午前6時15分～7時45分

【場所】 (集合) 千歳市支笏湖温泉街 支笏湖駐車場 (バスターミナル) 前  
(実施場所) 国道453号支笏湖温泉～苫小牧市丸山分岐

【主催】 NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【協力】 支笏湖自治振興会・支笏湖旅館組合・支笏湖商工会・支笏湖老人クラブ・支笏湖恵岳会・支笏湖小学校PTA自然公園財団支笏湖支部・千歳市・札幌開発建設部

【参加人数】 春：110名、秋：110名



# 支笏洞爺ニセコルート

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

《洞爺湖エリア》

ST-1

1008 453(とうや よごさん)キャンペーン

【概要】従来の国道453号沿線の清掃活動を拡大し、洞爺湖一周の道道・国道の号数の和が1008となり「とおや」の語呂が合うことから、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として洞爺湖での清掃活動を実施した。今年は、参加人数も過去最高の80名となり、6コースと広い範囲で展開。回収ゴミの量は洞爺湖町側で1トン、壮瞥町側で約2トン、伊達市で約1トン、合計4トンのゴミを回収した。

【日時】平成27年8月29日(土)

【場所】洞爺湖1周

(国道230号・国道453号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)

【主催】支笏洞爺ニセコルート 代表者会議(洞爺湖エリア)

【参加人数】80名



開会式の様子



参加者の様子



ゴミ拾い終了時の様子



## 道路周辺等の雑木駆除を生かした観光振興実験

【概要】シーニックバイウェイによる沿道の景観清掃活動の中で目に付いた道路の景観を阻害する胡桃の木等を撤去する活動を兼ねて、友の会では自発的に遊歩道に杖を設置した。実施内容としては、①道路の景観を向上させ、②枝打ちした胡桃の枝を加工して杖にし、③剥いだ樹皮を乾燥加工し籠編み材にし、④会員に籠編み講習会を通じ趣味を広げ、⑤道の駅等で販売し観光協会への売上げと会の売上げとし、⑥得た資金で道路景観保全活動等に貢献するエコサイクル事業を展開した。

【日時】平成27年度

【場所】洞爺湖周辺(国道453号沿い)

【主催】NPO法人有珠山周辺ジオパーク友の会

【協力】室蘭開発建設部

【参加人数】30名



# 支笏洞爺ニセコルート

《ニセコ羊蹄エリア》

SN-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

## 3町連携による尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理（草刈等）

【概要】今年度で4回目の取組み。従来、各団体が個別に行ってきた清掃活動を拡大し、羊蹄山麓周辺3町村（京極町・喜茂別町・倶知安町）協力のもと、尻別川や羊蹄山という資源を守り、美しいドライブルートを創出する一環として、合同維持管理作業を実施した。団体の抱える高齢化等の問題に対し地域一体で取組を進めたことが成果として残る一方、実施に係る費用の捻出方法については今後の課題である。

【日時】平成27年7月28日（火）

【場所】京極町、倶知安町、喜茂別町のビューポイントパーキング周辺（計3か所）

【主催】支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表者会議  
NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会／京極町景観を考える会／NPO法人きもべつWAO

【参加人数】約30名



京極町更進地区の様子



喜茂別町相川地区の様子



参加者全員の集合写真  
（倶知安町八幡地区）

# 支笏洞爺ニセコルート 《ルート全体》

STN

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

活動名：シーニックナイト2016

【内 容】シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りにつなぐ、”シーニックナイト2016”。各エリア、年々会場毎に思考を凝らしたオブジェやスノーキャンドルに加え、各種地域イベントとの連携など幅広い取り組みとして地域内に定着してきている。

【日 時】毎年1月下旬から2月下旬まで

【場 所】支笏洞爺ニセコルート(ウェルカムエリア・洞爺湖エリア・ニセコ羊蹄エリア内)

【主 催】シーニックナイト実行委員会

【共 催】支笏洞爺ニセコルート代表者会議





# 大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：ルート参加団体に対する参加意向アンケート及び検討会等の開催

【概要】大雪・富良野ルートの活動を見直し、今後の取組みや方向性を考えるために、参加活動団体に対して、今後の参加意向を確認するアンケート調査を実施した。今後もルートに参加すると回答した、15団体でワークショップ1回や検討会3回（最後は3/17予定）開催し、ルートのこれからの取組みについて検討を行った。

【日時】アンケート：9/25～10/16、検討会：9/9・12/8・1/29・3/17

【主催】大雪・富良野ルート運営代表者会議

【参加人数】10名（主催者）

平成27年9月25日

大雪・富良野ルート  
参加活動団体 各位

シーニックバイウェイ北海道  
大雪・富良野ルートへの参加意向について

大雪・富良野ルート運営代表者会議  
代表 加藤 祐一

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。シーニックバイウェイ北海道が創設化され、平成27年度で10年目となり、大雪・富良野ルートはモジュールから数えると、12年目となります。この約10年間に、常連客をはじめ20年キャンペーン、フォトコンテスト、情報拠点の開設、ワンタマーサウス等、多様な活動も展開してきました。しめし近年は、活動メンバーの固定化や活動自体の定着化など、ルート運営に関わる課題が生じているのも事実です。

そこで、大雪・富良野ルートとして、改めて今後のルートについて考えていきたいと思っております。現在、ルートに参加されている活動団体のみならず、今後のルートへの参加について、改めてご意向を確認させて頂きたいと思っております。

記

1. 目的  
大雪・富良野ルートの発展を促す活動による「活力ある地域づくり」という基本的な目的をこれまでのルート活動を踏まえた上で、貴団体の今後の参加意向を確認させていただくものです。  
ご意向を確認したのち、参加意向のある活動団体のみさまにご参加いただき、改めて今後のルート活動について検討したいと考えております。
2. 手法  
同封のルートへの参加意向確認書にご記入いただき、同封の返信用封筒にご返付ください
3. 締め切り  
平成27年10月10日（金） 消印有効
4. 留意点  
※ご返信が無い場合は、参加の意向が無いものと判断させて頂きます。  
※大雪・富良野ルートは開かれた組織ですので、今回は参加の意向が無い場合でも、規約に基づき手続きを踏んで、再参加も可能です。

以上



の参加意向確認書

大雪・富良野ルートへの参加の意向について

②今後は参加しない

貴方は、参加の条件として大雪・富良野ルートの令後をよりお願ひ申し上げます。日時等は追って、ご連絡いたします。是、退会の手続きをとらせて頂きます。答えて退会した場合でも、大雪・富良野ルートは開今回は参加の意向が無い場合でも、規約に基づき手続きご記入下さい。

問合せ等>>  
〒070-0001 滝川市 滝川駅前 支店 祐一  
〒070-0001 滝川市 滝川駅前 支店 祐一  
TEL / FAX: 011-728-1889  
E-mail: info@dsf.or.jp / 携帯: 090-5222-9911

# 大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：ウィンターサーカス Vol.αの開催

- 【概要】 ルート全体で実施していた「ウィンターサーカス」は、10回を迎えた前回は一度休止し、今年度はウィンターサーカスを実施したい地域が主体となり、ウィンターサーカスのスピンオフイベントとして「ウィンターサーカスvol.α」を開催した。
- 【日程】 平成28年2月12日（金）～13日（土） 17:00～20:00
- 【会場】 旭川市 西神楽会場（旭川市立聖和小学校グラウンド）  
上富良野町 深山峠会場（トリックアート美術館前）
- 【主催】 旭川西神楽会場・聖和地域維持活性化推進協議会  
上富良野深山峠会場・深山峠アートパーク
- 【参加人数】 300名（主催者20名、一般参加280名）





# 大雪・富良野ルート

*Daisetsu/Furano Scenic Byway*

活動名：沿道の清掃活動ゴミゼロキャンペーンの実施

- 【概要】旭川市西神楽と上富良野町にて、国道沿道の清掃活動「ゴミゼロキャンペーン」を実施した。旭川市西神楽では、旭川市聖和小学校とも連携し、小学生が参加するとともに、小学校周辺のゴミ拾いも実施した。上富良野町では例年通り、上富良野町や商工会、地域団体、住民等、多数が参加し、国道237号をはじめとした、町内のゴミ拾いを実施した。
- 【日時】西神楽：4/24 9:30～10:30 上富良野：4/26 10:00～12:00
- 【場所】旭川市西神楽、上富良野町
- 【主催】大雪・富良野ルート運営代表者会議
- 【参加人数】200名（主催者20名、一般参加180名）



# 大雪・富良野ルート

*Daisetsu/Furano Scenic Byway*

活動名：人と未来を繋ぐ100年の木プロジェクトにおける樹木の維持管理

【概要】大雪・富良野ルートと十勝シーニックバイウェイ（全3ルート）、ガーデン街道協議会が連携して取り組んでいる「人と未来を繋ぐ100年の木プロジェクト」について、植樹した木の維持管理を実施した。平成27年10月5日に2班に分かれ、過去に植樹した全15箇所、55本の現地確認等を行った。維持管理の状況や今後の活動を検討するために、100プロの全体会議を平成27年11月16日に開催した。

【日時】現地確認：10/5 全体会議：11/16

【場所】大雪・富良野ルート

【主催】北海道の美しい景観を育てる会

【参加人数】全体会議 約30名、植樹 約20名



# 大雪・富良野ルート

*Daisetsu/Furano Scenic Byway*

活動名：大雪ぐるっと広域事業の実施

【概要】大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート、上川町、愛別町の大雪山周辺地域が連携し、大雪山を中心とした観光ルートの確立を目指し、食のフェアやマップの作成などの取組みを行っている。なお、大雪ぐるっと事業を実施する会議は今年度で解散し、今後は各地域で取組みを進める。ホテルオークラ札幌に協力頂き、8月、9月に各レストランで地域食材を使用したメニューの提供を行った。平成27年9月4日（金）～9月6日（日）に、札幌発着のモニターツアーを実施した。参加者は36名で、主に札幌在住の中高齢者であった。平成27年10月10日に開催された。鹿追そばまつりにて、大雪ぐるっと及び各地域のPRを行った。

【日時】大雪ぐるっとグルメフェア：8～9月、モニターツアー：9/4～9/6、PR：10/10

【主催】大雪ぐるっと広域連携会議

【参加人数】4,338名（主催者20名、ぐるっとグルメ3,818人、PR500名）





# 東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：「シーニックマルシェ」in網走、斜里、清里

【概要】シーニックデッキの周知徹底のため、通常設置している数カ所から人の多く集まる箇所（道の駅3箇所）にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催。地元でとれた野菜や果物、地域特産品などの販売とともに、東オホーツクシーニックバイウェイ、オホーツクEV推進協議会の取り組みを紹介するパネル展示を行った。

【日時・場所】

- ・9月12日(土)：道の駅流水街道網走 参加者：300人
- ・10月4日(日)：道の駅うとろ・シリエトク 参加者：430人
- ・9月13日(日)：道の駅パパスランドさつる 参加者：480人

【主催】東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加団体】網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会



左より網走、清里、ウトロ

(パネル展示の様子)→

# 東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：『シーニックデッキの設置及び補修・デッキ設置による効果診断』

【概要】 景観の良い駐車スペースのあるポイントに、シーニックデッキを設置し旅行者などがゆっくりと景色を眺め休憩する事により、東オホーツク地域全体の景観PRをはじめ地域との交流が進んで行く。また、農産物等の特産品販売等、コミュニティビジネスの創出の可能性も高まる。更に道路利用者のオアシスとして交通安全に寄与する。

【設置箇所】 ウトロポケットパーク、あばしりフロックス公園、メルヘンの丘（女満別）、季風クラブ（ウトロ）、コスモスロード（上斜里）、コミット（清里）、斜里岳山小屋清岳荘（清里）、メーメーカーリー（斜里）、小清水リリーパーク

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加人数】 約9,000人（9箇所合計）



季風クラブ(斜里町ウトロ)



コスモスロード(清里町)



フロックス公園(網走市)



メルヘンの丘(大空町)

# 東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：ガードレールの雪かきボランティア

【概要】冬の流氷景観はかけがえのない資源。しかし除雪の雪壁で車窓からは見えない。では、除雪しよう！ということで斜里町ウトロでは、ボランティア約130人によるガードレール除雪をH19から毎年実施している。（2013ベストシーニックバイウェイプロジェクト 部門賞）

【期間】平成28年2月12日

【実施場所】国道334号オシンコシンの滝～幌別橋付近の景観ポイント3～4箇所

【主催】しれとこ・ウトロフォーラム21、ウトロ自治会、知床斜里町観光協会ウトロ部会、網走開発建設部、東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【協力】：斜里建設（株）、（株）間組、（株）西村組、（株）そうけん、勇・西村・堀松JV

【参加人数】：約90人



除雪中



除雪後



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：礼文島リボンプロジェクト

【概要】 礼文町の希少な自然環境の保全を主な目的として、「礼文島リボンプロジェクト」を平成23年度から行っている。ピンバッチを販売額の一部が、礼文島の自然活動に活用できる基金として積み立てられる取り組みで、26年度末までに約1,900万円の基金が集まった。毎年、デザインを変えることで、リピーターへの対応などをおこなっている。積立額、活用した費用などは、以下のHPで公開。

<http://www.town.rebun.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000202.html>

「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2011」ルート審査委員特別賞受賞

【日時】 通年で販売

【場所】 礼文島（観光案内所などで販売）

【主催】 礼文島観光協会



フェリーターミナル内でルート情報と共に告知



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻山コマドリプロジェクト



←利尻山コマドリプロジェクト  
ポスター

↓応援ピンバッジ



【概要】近年、利尻山の登山者の増加や降雨の影響などで登山道の荒廃が目立ち始めており、その問題の対策として、平成26年より、山に棲む鳥として象徴的なコマドリがデザインされた応援ピンバッジ（1個1,000円）を島内各所で販売することで、購入者自身に山の保全意識を啓発するとともに、登山道の補修や登山マナーの普及などの活動財源確保に取り組んでいる。

【日時】通年で販売  
【場所】利尻島（観光案内所などで販売）  
【主催】利尻山登山道等維持管理連絡協議会

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：クリーンキャンペーン りしり

【概要】 利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃（ゴミ拾い）を行った。町内の美化に貢献し、数年続いている活動であるが、今後も継続して取り組む予定である。

【日時】 平成27年5月23日（土）

【場所】 利尻町内一円

【主催】 利尻建設協会・運輸協会利尻トラック部会

【協力協賛】 利尻町・利尻町観光協会・利尻島ロータリークラブ・稚内建設管理部利尻出張所

【参加人数】 約 100名（主催者側 約 80名、一般参加 約 20名）





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：最北フラワーマラソン大会

【概要】 礼文島を巡る10キロ、5キロ、3キロの3つのコースが楽しめるマラソン大会。礼文島観光協会も協賛して記念品（町外参加者のみ）を提供している。

翌日の利尻島一周マラソン（利尻島一周悠遊覧人G ※ ゆうゆうらんになぐ）とも連携して実施している。

【日時】 平成27年6月6日（土）

【場所】 礼文島内

【主催】 最北フラワーマラソン大会実行委員会

【協力協賛】 礼文島観光協会・宗谷シーニックバイウェイ

【参加人数】 302名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：稚内空港線植樹帯維持活動

【概要】 稚内空港線（稚内空港前）の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。植樹帯の区画を決め、協賛団体にも年間を通して維持管理をお願いし、平成27年は20団体が参加した。また、子供たちや高齢者、身障者の方々の参加も増えてきた。

【日時】 平成27年6月6日（土） 10:00～

【場所】 道道稚内空港線（稚内空港前）

【主催】 フラワーマスター稚内

【協力協賛】 宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、稚内市役所、中田組、北武建設、高木組、稚内空港事務所、稚内観光協会、稚内ホテル旅館業組合、宗谷路の会、稚内測量協会、稚内のみなとを考える女性ネットワーク、一般市民ほか

【参加人数】 150名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：2015 WAKKANAI みなとコンサート

- 【概要】 稚内の観光名所であり、北海道遺産にも指定された歴史的建造物「北防波堤ドーム」を活用し、市民と共にみなとの重要性を考えつつ、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内に夢と活気を与えるべく、住民主体の音楽会を開催した。
- 【日時】 平成27年7月19日（日）11:00～16:00
- 【場所】 稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【共催】 稚内開発建設部、稚内市、FMわっぴー
- 【後援】 宗谷地区港湾工事安全連絡協議会
- 【協賛】 NPO法人北海道みなとの文化振興機構、社団法人寒地港湾技術センター、他
- 【参加人数】 個人・団体合わせ13団体





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：浜頓別町道路景観診断の実施

- 【概要】今年度から新たな地域として宗谷シーニックバイウェイに加わった浜頓別町にて、国道238号の道路景観診断を浜頓別町関係者、宗谷シーニックバイウェイ関係者、稚内開発建設部が連携して、実施した。道路上における景観の課題とともに、今まで知らなかった地域資源を関係者間で共有することが出来た。
- 【日時】平成27年12月8日（火） 14:00～17:00
- 【場所】浜頓別町国道238号（猿払村境界～枝幸町境界）
- 【主催】稚内開発建設部
- 【参加人数】26名（主催者11名、宗谷SBW関係者15名）



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：かまくらで遊ぼう

- 【概要】 冬レンジャーの催しとして、高さ2m、2畳ほどの広さのかまくらを2基作り、その中で親子が豚汁を食べたり、雪の上で玉入れや雪中綱引きなどゲームを行った。
- 【日時】 平成28年2月7日（日）11:00～14:00
- 【場所】 稚内副港市場・駐車場
- 【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他
- 【参加人数】 約380名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：彩北わっきゃナイト2016

【概要】 稚内港北防波堤ドームを約600個のスノーキャンドルで彩る。今年で13年目となる当イベントは、稚内青年会議所などで組織する実行委員会主催の『わっかない氷雪の広場』との同一会場での開催。昨年同様に北防波堤ドームのコンクリート壁に稚内北星学園大学の学生による映像作品が映し出されるという演出も行った。

【日時】 平成28年2月13日（土） 13:00～21:00

【場所】 稚内港北防波堤ドーム

【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会

【協力協賛】 稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内大谷高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、中田組など

【参加人数】 1,000名





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：バードウォッチングモニターツアー

【概要】バードウォッチングをテーマとした誘客、特にインバウンドSITの誘客の可能性を探るため、鳥に詳しい専門家を招き、宗谷岬からオオワシ・オジロワシの渡りや、コオリガモやオオヒシクイなどの海鳥、浜頓別町の「オオワシの森」など、当地の観察ポイントを視察した。21日には一般参加可能の海鳥観察会、22日にはツアーに関する意見交換および2月に実施した根室・羅臼を中心とした先進地視察報告会をそれぞれ開催した。

【日時】平成28年3月20日（日）～23日（水）

【場所】稚内市、豊富町、幌延町、猿払村、浜頓別町、天塩町

【主催】稚内観光協会

【協力協賛】宗谷シーニックバイウェイ

【参加人数】ツアー3名（大阪・根室・礼文より）＋随行、海鳥観察会20名、意見交換会24名



観察ポイント視察



海鳥観察会



意見交換&視察報告会

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：ルート内情報発信事業

- 【概要】 宗谷シーニックバイウェイのルート内（稚内・利尻・利尻富士・礼文・豊富・猿払・浜頓別町）にある各観光協会・観光案内所同士で連携し、旬な情報を共有し、観光客に情報発信を行う事業として、週1回のニュースレターを発行した。本事業はルート発足当初から継続的に実施しており、過去にはベスト・プロジェクト審査委員特別賞の受賞している。近年は、SNS（twitter、Facebook）も活用し、情報発信を行っている。
- 【日時】 初号：5月29日（金）～ 最終号：9月25日（金）の毎週金曜日・週一回の発信
- 【場所】 ルート内各観光協会から情報をメールまたはFAX→集約→関係者・団体へ
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ情報・観光分科会  
稚内・利尻富士町・利尻町・礼文町・豊富町・猿払村・浜頓別町 各観光協会



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：観光関係の若手による「しゃべり場」の開催

- 【概要】 宗谷地域で観光に関係する若手の方が自由に意見交換を行う「しゃべり場」を開催。平成25年度から開催し、今年度は礼文島、利尻島で開催し、礼文島では「地域の底力」、利尻島では「冬期観光」をテーマにワークショップを開催した。
- 【日時】 礼文島・平成27年5月1日（金）14:00～16:30 ※5/2は散策路整備のボランティア作業  
利尻島・平成27年10月13日（火）11:45～14:15
- 【場所】 礼文島・町民活動総合センター ピスカ  
利尻島・総合交流促進施設 りぷら
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議、礼文町、利尻富士町
- 【参加人数】 礼文島・21名（主催者：6名 参加者：15名）  
利尻島・30名（主催者：6名 参加者：24名）





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「宗谷版スイス・モビリティ検討会の開催」

- 【概要】今年度から天塩川流域ミュージアムパークウェイと連携し、スタートした「道北版スイス・モビリティ事業」について、宗谷地域での展開方向や具体的な取組み、課題等を検討する「宗谷版スイス・モビリティ検討会」を開催した。
- 【日時】平成27年7月22日14:00～16:00【稚内】【10名】  
平成27年8月6日10:00～12:00【利尻富士町りぷら】【15名】  
平成27年10月14日14:30～17:00【利尻富士町りぷら】【27名】  
平成27年10月17日9:30～11:00【稚内キタカラ】【16名】  
平成28年1月12日13:30～14:30【利尻富士町役場】【10名】
- 【主催】宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「天塩川流域ミュージアムパークウェイと連携したモデルコース試走調査の実施」

- 【概要】 美深～中川、稚内、礼文島、利尻島までのモデルコースを設定し、北海道版スイス・モビリティ研究会（dec事務局）のメンバーに試走してもらい、ルート上の課題や受け入れ環境のり方について調査を行った。
- 【日時】 平成27年8月3日（日）JR美深駅発～音威子府～中川  
4日（月）中川町～JR移動～兜沼～こうほねの家～稚内  
5日（火）稚内～フェリー～礼文島～フェリー～利尻島  
6日（水）午前：検討会
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議
- 【参加人数】 試走メンバー【8名】



抜海線を通り、稚内駅までの自転車で移動



利尻島は路線バスとレンタサイクルで移動



自転車道を走行し、島を一周

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「山田桂一郎氏を招聘したセミナーの開催」

- 【概要】 スイス・ツェルマット観光局で日本人向けの観光プロモーションを担当している観光カリスマ山田氏を講師として招聘し、「宗谷の新たな観光を考える勉強会～“環境”と“観光”の両立による地方創生～」というテーマで勉強会を開催した。
- 【日時】 平成27年10月16日（金）15：00～17：00
- 【場所】 ANAクラウンプラザ稚内 鳳の間
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ、稚内信用金庫
- 【共催】 一般社団法人北海道開発技術センター、シーニックバイウェイ支援センター
- 【後援】 稚内市、稚内開発建設部、宗谷総合振興局
- 【参加人数】 70名（主催者：10名 一般参加：60名）





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「スイス・モビリティ先進地 スイス・ツェルマットへの視察」

- 【概要】 スイス・モビリティは2008年からスイスで実施されており、スイスの状況（公共交通と自転車との連携や手荷物の輸送など）がどのようになっているか調査するために、スイス・ツェルマットに視察に行った。また、同時にイタリア・ミラノ万博及びヴェネチアへの視察も行った。
- 【日時】 平成27年10月1日～10月9日  
※スイス・ツェルマット滞在日程（平成27年10月2日～4日・2泊3日）
- 【場所】 スイス・ツェルマット、イタリア・ミラノ、イタリア・ヴェネチア
- 【主催】 稚内てっぺん塾、宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議
- 【参加人数】 14名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「サイクルツーリズム先進地 しまなみ海道への視察」

- 【概要】日本国内にてサイクリストの聖地と呼ばれる「しまなみ海道」に、天塩川流域ミュージアムパークウェイの関係者、北海道版スイス・モビリティ研究会のメンバーとともに視察を行い、サイクルツーリズム先進地の受入環境や課題について調査を行った。
- 【日時】平成27年11月14日～15日
- 【場所】しまなみ海道<西瀬戸自動車道> 広島県尾道市～愛媛県今治市
- 【主催】天塩川流域ミュージアムパークウェイ、宗谷シーニックバイウェイ、北海道版スイスモビリティ研究会
- 【参加人数】13名（宗谷シーニックバイウェイからは2名参加）



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「静岡県掛川市でサイクルツーリズムを推進する佐藤氏を招聘した勉強会の開催」

**【概要】** 宗谷にてサイクルツーリズムを推進するために、静岡県掛川市にて地元サイクリストによるガイドサイクリングを観光商品化するなどの取組みを行っている佐藤氏を招聘し、「道北版スイス・モビリティ勉強会～クワイエット&スロー 地域観光に新たな可能性を求めて～」を開催した。

**【日時】** 平成28年3月15日（火）14:30～17:00

**【場所】** 稚内商工会議所 会議室

**【主催】** 宗谷シーニックバイウェイ

**【共催】** 天塩川流域ミュージアムパークウェイ、北海道版スイスモビリティ研究会  
一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、一般社団法人北海道開発技術センター

**【参加人数】** 45名（主催者：7名 参加者：38名）

## 道北版スイス・モビリティ勉強会

～ クワイエット&スロー 地域観光に新たな可能性を求めて ～

宗谷シーニックバイウェイと天塩川流域ミュージアムパークウェイでは、今年度より自転車やカヌー、歩きと公共交通を組み合わせて、観光を楽しむ「道北版スイス・モビリティ」の事業をスタートしました。今年度は、道北モデルコースの試走や先遣地の視察、ジャパン・エコトラックを実施するモンベル広報担当者を招聘しての勉強会等を実施して来ました。

今回、静岡県掛川市を拠点に、ロコ（地元）サイクリストがガイドするサイクルツーリズムを商品化し、サイクルツーリズムを通じたまちづくりを実施する佐藤氏をお招きし、道北版スイス・モビリティ勉強会を開催します。

日時：平成28年3月15日 午後2時30分～午後5時

場所：稚内商工会議所 会議室

参加費：無料

主催：宗谷シーニックバイウェイ

共催：天塩川流域ミュージアムパークウェイ、北海道版スイスモビリティ研究会

一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、一般社団法人北海道開発技術センター

### 講師のご紹介

コンセプト株式会社 代表取締役

静岡県サイクルツーリズム協議会 事務局長

佐藤 雄一 氏

コンセプトメイキング・マーチャンダイジング・デザインの総合的な計画推進・品質管理を主業務とするコンセプト株式会社を2000年に設立後、商品化計画、デザイン開発、ツーリズム開発など商標権プロデュースに特化した業務を展開している。

#### ■活動実績

##### サイクルツーリズム分野

ライド&ライド狩野川の事業化と狩野川流域のサイクルツーリズムの商品化支援  
ぐるっと浜名湖ツーリズムの事業化と浜名湖サイクルツーリズムの商品化支援  
ゆるゆる遠州サイクルツーリズムの立ち上げとガイドライドによる観光商品化

##### 地域活動分野

掛川市のスローライフシティ宣言に至る行状と市民活動支援  
掛川ライフスタイルデザインカレッジの開設と運営

##### 商品開発分野

北海道と静岡の地域間交流によるフードの交換・ツーリズムの交換・ライフスタイルの交換による『互恵互補』の提唱と商品およびサービスの開発

#### ■委員・事務局活動

静岡県サイクルツーリズム協議会 事務局長（2013～）／ローカルライフスタイル研究会 事務局長（2012～）

掛川市 景観審議委員（2011～）／特定非営利活動法人 狩野川倶楽部 監事（2010～）

北海道開発局 ツール・ド・北海道 国際大会等のあり方委員（2006）など





# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

*Clear Stream Scenic Byway*

活動名：トヨタレンタリース札幌でのPR活動（観光交流部会）

【概要】 シーニックバイウェイ北海道が包括連携協定を結んでいる（株）トヨタレンタリース札幌と連携して、夏休みやシルバーウィークの交流人口の増加をめざしたPR活動を実施した。同時に、トヨタレンタリースと釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイが協働で行うアンケート調査（地域の魅力、レンタカーの利用状況）を実施し、連帯感を高めるとともに、調査結果を双方で共有して活用することとした。

【日時】 平成27年7月7日～11月10日

【場所】 トヨタレンタリース札幌 札幌駅東店（札幌市中央区北5条東1丁目2-4）

【主催】 観光交流部会

【参加人数】 不明（アンケートの回答者 約100名）



シルバーウィークの観光客をターゲットにしたPRの状況



天然水摩周湖の当たるアンケートを実施し、地域の魅力を調査

# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

*Clear Stream Scenic Byway*

活動名：そらの森 植樹会（景観まちづくり部会）  
ルートオリジナルグッズの販売（シーニックカフェP）

- 【概要】 景観まちづくり部会では、そらの森（弟子屈飛行場跡地）での植樹活動を継続的に実施している。地域の子供達や障がい者とともに、飛行場跡地の植樹活動を通じて、カーボンオフセットのシーニックの森づくりを行った。継続的な森づくりには維持、管理の経費も必要となることから、タンブラーなどのルートオリジナルグッズの販売を行い、売上金の一部をそらの森の苗木代、維持管理費として活用している。
- 【日時】 平成27年10月31日 9時～14時
- 【場所】 そらの森（弟子屈町飛行場跡地：一般国道241号沿い）
- 【主催】 景観まちづくり部会、シーニックカフェプロジェクト
- 【参加人数】 約80名



活動名：シーニック清掃活動

- 【概要】平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を「シーニックの日」に制定し、地域住民や観光客が集う場所で、おもてなしの心で清掃活動を実施。今年度は下記の4箇所で一斉に実施した。今後は、活動団体や関係機関とのさらなる連携強化を図り、活動箇所の拡大を目指す。
- 【日時】4月29日（祝）
- 【場所】五稜郭タワー、函館市地域交流まちづくりセンター、函館市縄文文化交流センター、七飯町田園通り
- 【主催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議
- 【参加人数】主催者：148名、一般参加：10名



▲五稜郭タワー周辺



▲函館市地域交流まちづくりセンター周辺



▲函館市縄文文化交流センター周辺



▲七飯町田園通り



活動名：ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイト

【概要】 本事業は、北海道新幹線開業により、初めて本州と北海道がつながる3月26日、新幹線でお越しくださる大勢のみなさまへ「ようこそ」という歓迎の気持ちと、長年、地域が切望し続けた北海道新幹線開業の嬉しい気持ちを込めて、みんなで作ったキャンドルで、晴れの日をお出迎えしたいとの思いから、「ウェルカム北海道新幹線開業～メモリアル3.26～シーニックdeナイト」を実施しました。実施場所は、新函館北斗駅周辺、木古内駅周辺、函館駅周辺の3箇所で、統一キャンドルとしてワックス製のキャンドルを用いて、総数1,300個を設置し点灯しました。

【日時】 平成28年3月26日（土）

【場所】 新函館北斗駅、木古内駅、函館駅

【主催】 ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイト実行委員会

【参加人数】 主催者：約70名 一般参加：不明



▲函館駅



▲新函館北斗駅



▲木古内駅

# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：ワークショップの開催

【概要】シーニックバイウェイ北海道の取組みが10年目を迎え、様々な見直しが進められていることや、ルート内の活動に参加するメンバーの新たな開拓を目指し、萌える天北オロロンルートのこれからの10年に向けてと題し、ワークショップを開催した。当日は、行政連絡会議と合わせて実施し、行政関係者への参加も呼びかけ、推進協議会事務局（和泉晶裕氏）にお越しいただき、シーニックバイウェイに関する講演をいただいた後、ワークショップを開催した。ワークショップでは、ルート内の地域資源・課題・人的資源を参加者にあげていただき、萌天のこれからについて議論していただいた。行政関係の方も多数参加いただき、盛況であった。ワークショップでの意見を参考に、今後の活動を進めていく予定である。

【日時】平成27年7月23日（木）

【場所】留萌開発建設部1階会議室（留萌市）

【主催】萌える天北オロロンルート運営代表者会議

【参加人数】38名（うち、地域メンバー16名、行連参加者10名）



和泉氏による講演風景



ワークショップでの議論



テーブルごとの発表風景

# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：ルート内の食材を活用した『萌天焼』の開発

【概要】 候補ルートの中から続いているルート内の「食のブランド化」に向けた取組みの一環として、管内の様々な食材を具材に使ったたこ焼き「萌天焼」の開発に向けた検討を行った。今年度は、地域のイベント（ひらめオーナー（遠別町）と凧あげ大会（苫前町））で、実際にたこ焼きを作って販売した。

具材によってやけ具合に差が生じ、販売待機の時間が出来たり、焼き担当者が多数必要であったことなどから、8個入りで、1種類ずつ地域の食材を入れたたこ焼きを制作したが、2回目は4種類の具材で2個ずつ入れるなど、工夫を重ねている。

今後は、たこ焼きの具材に適した食材を検討するため、試食会の開催や、将来的に地元のイベント等で実施してもらえるよう、アピールポイントの整理など、工夫を重ねていく予定である。

【日時】 平成27年6月20日（土）、平成28年2月28日（日）

【場所】 遠別漁港（遠別町）、道の駅風W（ふわっと）とままえ（苫前町）

【主催】 萌天サポーターズクラブ

【参加人数】 活動従事者：延べ約20名



萌天焼を焼く様子（6月）



販売風景（6月）



萌天焼（2月）



萌天焼に並んでいる人たち（2月）



# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：萌天の森の移植・植樹活動

【概要】シーニックの森に登録されている「萌天の森」は、平成19年に植樹してから8年が経過し、これまで草刈等の維持管理を行ってきたが、植樹木同士が近接していたり、植樹木の生長がよくないことから、今後の活動について検討を進めてきた。今年は、植樹場所のすぐ近くの生育の良い樹木がある場所に植樹木のいくつかを移植するとともに、新たに苗を植えることとし、5月に植樹活動を行った。

移植木、苗木ともに、7月の草刈作業及び10月の点検時にも、ほとんどの樹木が青々と茂り、生長が確認されている。今後も、生長状態を確認しつつ、次年度以降の維持管理計画を検討する予定である。

【日時】平成27年5月14日（木）～10月

【場所】天塩郡遠別町丸松

【主催】萌える天北オロロンルート運営代表者会議

【参加人数】18名



専門家による植栽時の留意点解説



土をこぼさないように移動中



苗周辺の土の踏み固め



草刈作業後の移植木（7月）

# 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

- 【概要】訪れた人に楽しんでいただきながらルート内のシーニックカフェを巡っていただき、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに各シーニックカフェの利用促進を図ることを目的に昨年度からルート独自で実施している。
- 【実施内容】参加施設にスタンプラリーパンフレット及びスタンプを設置し、参加者はラリー参加施設の2カ所以上のスタンプの押印で応募が可能。スタンプ押印数により景品が抽選で当たる。
- 【開催期間】平成27年4月25日～10月31日
- 【主催】十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
- 【参加施設】十勝平野・山麓ルート内シーニックカフェ11カ所
- 【応募人数】56名（十勝管内：28名、十勝管外：14名、北海道外：14名）

サイズ：見開きA4（観音折り）

（表）



（裏）



シーニックカフェ	市町村
ヨークシャーファーム	新得町
旧狩勝線ミュージアム&カフェ	新得町
三国峠茶屋	上士幌町
ナイタイ高原牧場レストハウス	上士幌町
カントリーパパ	鹿追町
美曼亭	清水町
カフェダイニング サルビア	清水町
士幌高原ヌブカの里	士幌町
レストランあしよろ	足寄町
ソフトクリーム工房	陸別町
tomono	陸別町

# 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：大雪山ぐるっと観光推進事業

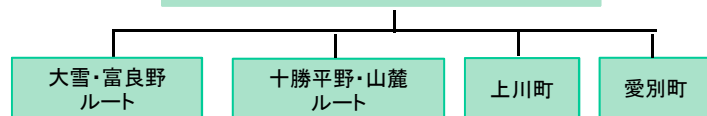
【概要】北海道の屋根として認知度の高い「大雪山」を中心として広域の観光ブランドを創出し、周遊約350kmにおよぶ大雪山周遊観光を提案することで集客を図り大雪山周辺の地域活性化につなげていく。昨年度に続き、地域のPRを行うため、ホテルオークラ札幌と連携し、ホテル内のレストランにて地域食材を活用した特別メニューを提供する『大雪ぐるっとグルメフェア』を開催した。また、大雪山の景観や食などの魅力を十分に体感できる2泊3日のモニターツアーを実施し、参加者にアンケートを実施したところ、高い評価を得ることができた。

【日時】平成27年4月～平成28年3月

【場所】大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート、上川町及び愛別町のエリア内

【主催】大雪ぐるっと広域連携会議

【体制】 会長 加藤祐一（大雪・富良野ルート代表）



【エリア】



(表面)



(裏面)



【大雪ぐるっとグルメフェア：パンフレット】



# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：とちちガーデン・スイーツ・温泉チケット事業

【概要】 今年度で6年目の事業となる十勝の施設をお得にめぐる「とちちガーデン・スイーツ・温泉チケット」（1,400円）を販売した。観光施設、ビジネスホテル、道の駅など、道内約70か所で販売を行い、相互の施設においてPR活動を実施するほか、専用ホームページにて積極的にPRを行った。

また、今年度は昨年度に比べ旅行エージェントの旅行商品への組み込みの減少に伴い販売冊数は減った一方で、個人購買が増え、チケットの認知度が上がっていることを実感した。同時に利用率が減少した結果、販売冊数の減少にも関わらず昨年度並みに利益が出る結果となった。今後も関係施設や旅行エージェントに売り込みを行って定期的な収入になるよう、販売先を広げていくと同時に、利用施設や商品の幅を増やして更に魅力あるチケットとなるよう努めていく。

【販売・実施期間】 平成27年4月21日（火）～10月12日（祝）

【対応施設エリア】 十勝シーニックバイウェイエリア

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【販売枚数】 3,070冊（利用率84.5%）

## ●チケット概要

ガーデン施設入園・スイーツ引替・温泉日帰り入浴が選べる共通チケット3枚+ばんえい十勝無料クーポンがついたお得なチケット。

## ●チケット対応施設

【ばんえい競馬】 ばんえい十勝（帯広競馬場）

【ガーデン施設】 十勝千年の森・真鍋庭園・十勝ヒルズ・紫竹ガーデン

【スイーツ施設】 道の駅しかおい直売会・道の駅ステラ★ほんべつ・十勝まきばの家・ふるさといけだ（池田ワイン城内）・とちち物産センター・十勝トテッポ工房・和食と焼き肉すず喜・国民宿舎新嵐山荘・NEEDS・十勝野フロ マージュ・大森カントリーガーデン

【温泉施設】 糠平館観光ホテル・然別湖畔温泉ホテル風水・十勝川温泉（笹井ホテル・観月苑・ホテル大平原・第一ホテル）・ホテルバコ帯広・晩成温泉

【その他施設】 カントリーホーム風景、大草原の小さな家、焼肉KAGURA、とちちむら産直市場、北の屋台、猫カフェWish、八千代牧場カウベルハウス・とよこ物産直売所

（チラシ中面）



チラシ（表面）

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ育成事業

【概要】十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」の育成事業の主な動きとして、十勝川温泉にある「シーニックカフェ十勝が丘展望台」に96名の派遣を行い、十勝の観光情報を伝える活動を行った。その他、昨年度に続き帯広駅構内に派遣を行い観光案内ガイドとして活躍するなど積極的に十勝の観光情報を伝える活動を実施した。また、ライフコンシェルジュを対象としたワークショップや現地調査を実施。ライフコンシェルジュのおすすめスポットを発掘し、おすすめ情報として「ライフコンシェルジュが紹介するおもてなしマップ」に反映するなど感じる部会とライフコンシェルジュが一体となって事業に取り組んでいる。

【活動期間】平成27年4月～平成28年3月

【場所】十勝管内にて活動を実施

【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【登録人数】ライフコンシェルジュ：52名 派遣先は以下のとおり

- ①シーニックカフェ十勝が丘展望台（計48回 96名）／②帯広駅エスタ帯広東館1階西口（計19回 19名）
- ③とがちマルシェ・十勝観光案内所（計2回 12名）／④ラリー北海道2015（計1回 2名）
- ⑤帯広のあしあと まちあるきワークショップ（計1回 5名）



とがちマルシェ



ワークショップ



おもてなしマップ

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

【概要】昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成した。今年度は更なる魅力発信のため、ライフコンシェルジュの「おすすめ情報」を掲載した。引き続き観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて継続する。

【発行】平成28年3月

【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【マップ仕様】印刷部数：17,000部 サイズ：B1（折りたたんでB5）

配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、道の駅、札幌市内など



<トカプチ雄大空間ルートMAP 抜粋>



# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチ情報ボックス事業

## 【概要】

トカプチ雄大空間エリア内の各情報拠点に設置している「トカプチ情報ボックス」にルート内施設の観光パンフレットなどを設置している。

主に観光施設に設置しており、お客様の要望も高いことから、今後も実施をしていく。

【実施時期】平成27年4月～9月

【設置箇所】17カ所（参加は19事業所）

【配達回数】6回



<トカプチ情報ボックス>

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：学校シーニックバイウェイ

## 【概要】

学校シーニックバイウェイは、子供達の地域を愛する気持ち、訪れる人を思う気持ちを育むため、子供目線による地域の魅力を地域内外へ積極的に発信することを目的として、平成22年に、幕別町立忠類小学校5年生を対象に開始した。

今年度は、中札内小学校の6年生を対象とした授業を実施。

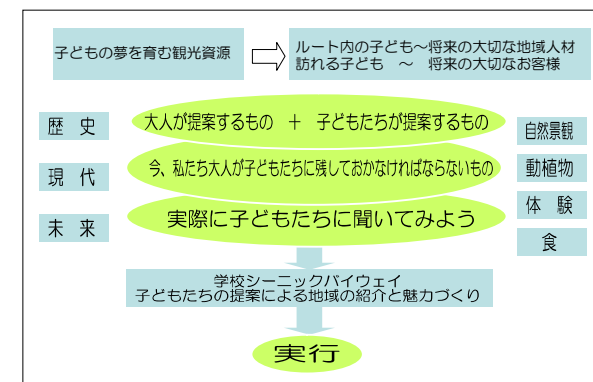
【日時】平成27年10月14日（水）

【場所】授業：中札内小学校

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道



学校シーニックバイウェイの授業の様子



学校シーニックバイウェイの概要

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：フォトコンテスト & フォトコンテストカレンダー作成

## 【概要】

フォトコンテストの開催及びコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成及び販売は候補ルート時から継続して実施している活動である。

フォトコンテストは、地域の魅力を発信しエリアに訪問して頂く機会を作るため、平成18年より実施している。今年度は過去最多の応募があったことからフォトコンテストの取組が着実に根付いていることを実感した。また、フォトコンテストの入賞作品の巡回作品展（5箇所：各2週間）を開催したほか、今年度はフォトコンテスト活動10周年を迎えたことから、地域の魅力発信や周遊観光のツールとして活用するため、応募作品を中心とした写真集及びマップを作成した。

フォトコンテスト及びフォトコンテストカレンダーの作成は本ルートの景観の素晴らしさを多くの方に知ってもらえる活動となっていることから継続的に取り組む予定である。

【日時】 作品募集：平成27年7月1日～9月30日

カレンダー販売：平成27年11月～平成28年1月

【場所】 撮影：南十勝夢街道エリア、販売：南十勝夢街道内商工会及び道の駅、札幌市内など

【主催】 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【参加人数】 フォトコン応募：316点 カレンダー：1,500部作成



フォトコンテスト募集チラシ



2016年カレンダー



フォトコンテスト審査会



フォトコンテスト巡回作品展



# 札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：他ルート視察

【概要】 来年度、当ルートは、活動開始から10年、ルート指定から5年を迎えるにあたり、構成団体が当ルートの活動意義を再認識し、一致団結して取り組む必要がある。そこで、これまでの活動の振り返りを行うとともに、他ルートを視察することにより当ルートの強みや課題を検証するため、ルートメンバーによる支笏洞爺二セコルートの視察を行った。支笏洞爺二セコルートのみなさんの活動が素晴らしく、参加者からは、“参考になった”、“今後の活動に生かしたい”といった感想が得られ、今後のルートの活動に非常によい影響を与えることができた。

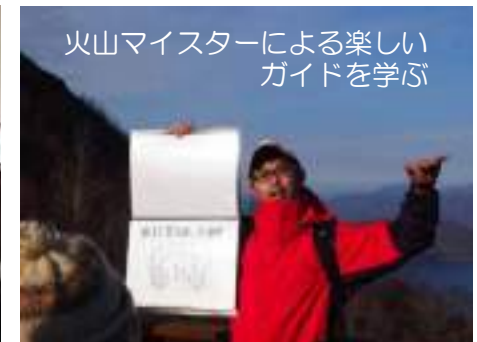
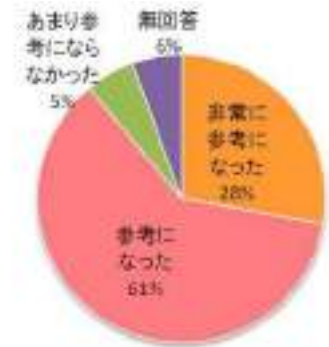
【日時】 平成27年11月19日

【場所】 支笏洞爺二セコルート（洞爺湖エリア）

【主催】 ルート運営代表者会議

【参加人数】 26名

参加者アンケート結果▶



# 札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：簾舞・豊滝・砥山 農産物季節販売会

【概要】札幌市南区では果樹や野菜等の農産物を生産しているが、その認知度が低いことが課題となっている。そこで、地域資源である農産物の紹介（販売）や農業生産者の紹介により、南区の魅力PRと地域活性化を図ること、また豊滝除雪ステーションの活用を目的に、物販イベントを開催した。

8月と9月の2回開催し、2回とも多くの方に来場いただき、大盛況であった。来場者からは特に農家の方と直接交流できる点が非常に好評で、また、生産者も魅力PRの効果を感じることができた。

今後の地域活性化に期待できる取り組みであることから、次年度も継続して開催予定である。



【日時】平成27年 ①8月2日 ②9月20日

【場所】豊滝除雪ステーション

【主催】簾舞まちづくり協議会

【参加人数】①457名 ②609名



たくさんの人で賑わった



キッチンカーも出店



休憩スペースを用意した



2回目には札幌開発建設部パネル展、配送サービスも実施された



# どうなん追分シーニックバイウエイルート

活動名：北海道新幹線開業時のルートの取組

【概要】北海道新幹線開業時に新幹線が停まる木古内駅があることからルートとして9町連携、函館・大沼・噴火湾ルートとの連携、日本風景街道あおもり松前街道推進協議会との連携事業が行われ、活動を通じ交流を深めて行く。

●北海道新幹線木古内駅開業記念イベント食と文化のフェスティバル 【9町連携事業】

【日時】平成28年3月26日（土）9：50～16：00 ・27日（日）10：00～16：00

【場所】木古内駅南口 【主催】北海道新幹線木古内駅開業記念事業実行委員会

【参加者】9町観光協会ほか各町行政（全体参加者人数不明）

●ウェルカム北海道新幹線開業～3.26メモリアル～シーニックdeナイト 【函館・大沼・噴火湾ルート 連携事業】

【日時】平成28年3月26日（土）19：00～22：30

【場所】木古内駅南口 【主催】ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイト実行委員会

【参加者】実行委員会（部会8団体）中心にルート活動団体スタッフ約35名（全体参加者人数不明）

●北海道新幹線開業記念のろし上げセレモニー 【あおもり松前街道推進協議会日本風景街道 連携事業】

【日時】平成28年3月26日（土）12：20～15：00

【場所】福島町日向地区 【主催】北海道新幹線開業記念福島町のろし上げ実行委員会

【参加者】全体参加者人数 約120名



食と文化のフェスティバル 9町連携



ウェルカムシーニックdeナイト 函館ルート連携



のろし上げセレモニー 青森日本風景街道連携



# どうなん追分シーニックバイウェイルート

A-1

活動名：「学習会」おもてなしについてのルートの取組

【概要】ルートでは年に2～3回「学習会」を開催している。本年度は指定ルートの認証を受け、初めての開催にあたって、運営活動計画のプロジェクトに則し、北海道新幹線開業を目前に「おもてなし」をテーマに活動団体としてのお話を函館・大沼・噴火湾ルート事務局長 折谷氏に講演して頂きました。また、函館・大沼・噴火湾ルートの役員、鎌鹿氏と坪井氏にも参加頂き、道南地域2ルート連携意識の向上を図った。

●学習会 「心が伝わるおもてなし」 函館・大沼・噴火湾ルート事務局長 折谷久美子氏

【日時】平成28年1月25日（月）

【場所】道の駅みそぎの郷きこない会議室

【参加者】30名

